

園田：現地防災担当者への 2 3 項目の質問を予定していたが出席ならず、後日回答いただけるとして、調整池を確実に作って欲しい。7 月 3 日の豪雨災害で入水の田圃はずたずたになった。霧島市は業者の責任は問えないと言っているが、手籠川の管理がしっかりなされておれば、あのような被害は無かったと今でも確信している。関の坂の大きな道路崩壊、いまだに復旧せずに春山経由を余儀なくされている。これも元を正せば、ゴルフ場に起因し、今までの流れ出した土砂が川を塞ぎ止めたのが原因の一つと思っている。予告も無く川が濁る。業者には作業を行う時は通告してくれと言っているのだが、通じない。田圃の水口には土砂が堆積する。土砂撤去作業を行う時は通告することを要請する。

司会：意見は食い違っている。協議を聞いていると 3 回目の 3 者協議も必要かなと思う。最終的には補償交渉という言葉が水利組合からも出ておったわけだが、そこまで到達する段階でもないようである。~~今日の会議の結果を文書でとりまとめる。~~ 3 回目の 3 者協議を設定する。

園田：市長さんにはどうしてもこの会議に出席をしていただきたい。最初から最後まで在席して欲しい。

司会：次回は市長も十分時間をとるように進言する。

中村：開催時間を夜にしてもらえないか？

司会：理解する。3 者の落としどころをさぐる。質問事項を事前にもらえないか？

中村：意図がある。市長、副市長にはあらかじめ渡してある。矛盾する回答が多々あるから、事前には渡したくない。

小濱：新規な質問ではない、簡単に答えられる質問だけである。

中村：スピーディな対応をお願いしたい。